

2022 spring

Vol.5

技工室 だより

大阪大学歯学部附属病院総合技工室の
活動をお伝えします！



2021 年度も終わり、2022 年度の研修が始まりました。昨年度の研修生も無事就職先が決定し、今年度の研修生は継続生 1 名、新入生 5 名の計 6 名となりました。

職員も人員の入れ替わりで新体制となり、新しい機器の導入も検討中で、今後補綴物の製作の幅がどのように広がっていくのかとても楽しみです。

今年度も技工室一同、気持ちを新たに頑張っていきたいと思います！

研修制度を一部改訂しました。

詳しくはホームページ内の動画を

参照していただけますと幸いです。



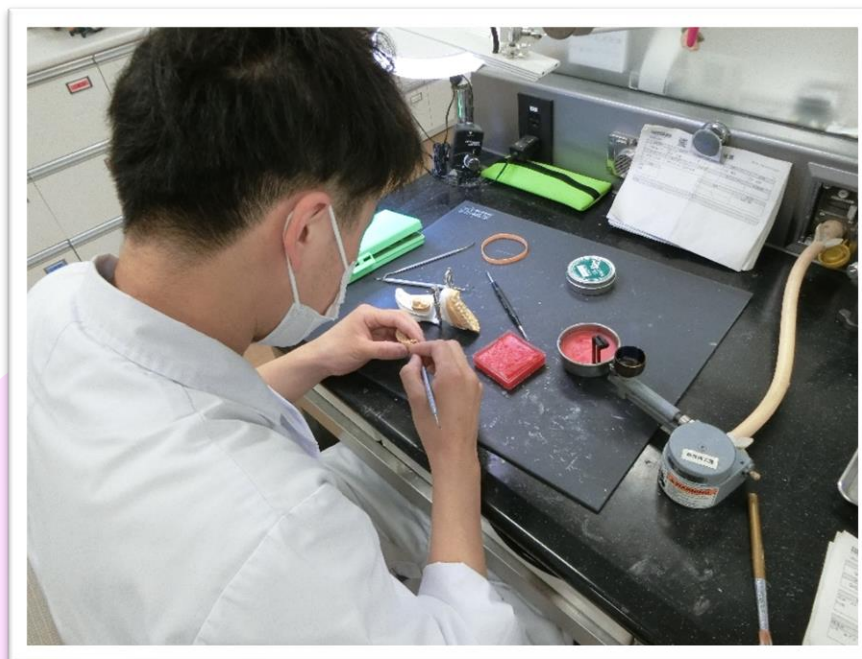


研修生

4~6月の実習は全員歯冠班での実習を選択しました。

ワックスアップや CAD/CAM のデザインから始まります。

インレーのワックスアップ中・・・



埋没の準備をしています

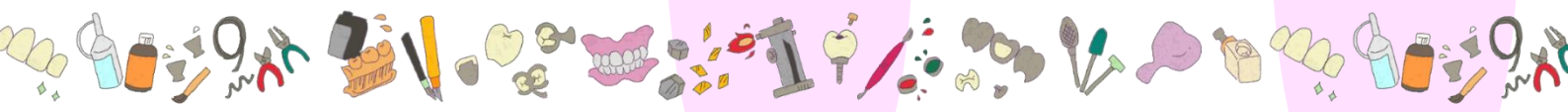




exo-cad で CAD/CAM 冠の
デザインをしています

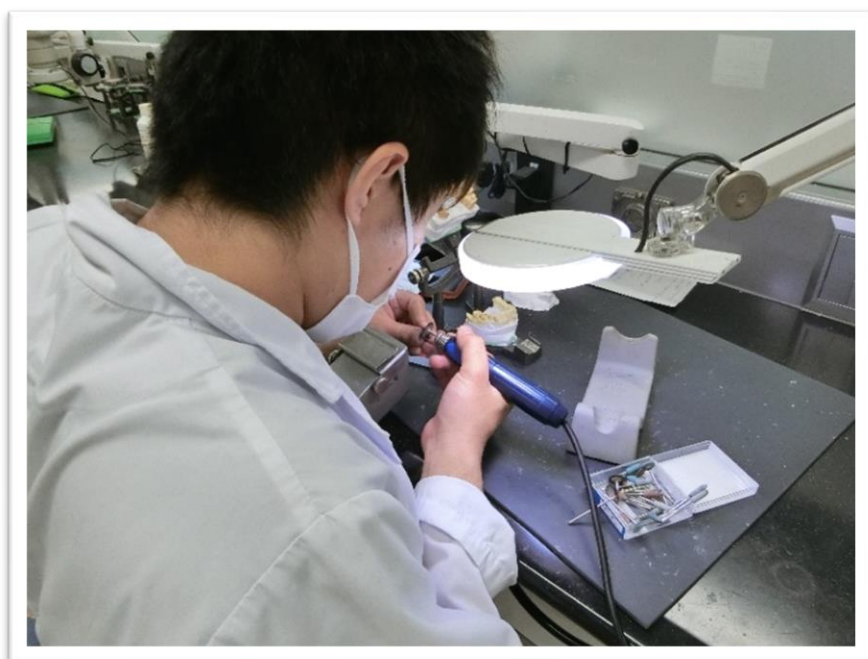


個人のペースに合わせてケースの配当をして
いるので、積極的な研修生は1年目でも難易度
の高い症例に取り組んでいます。





クラウンの調整中・・・

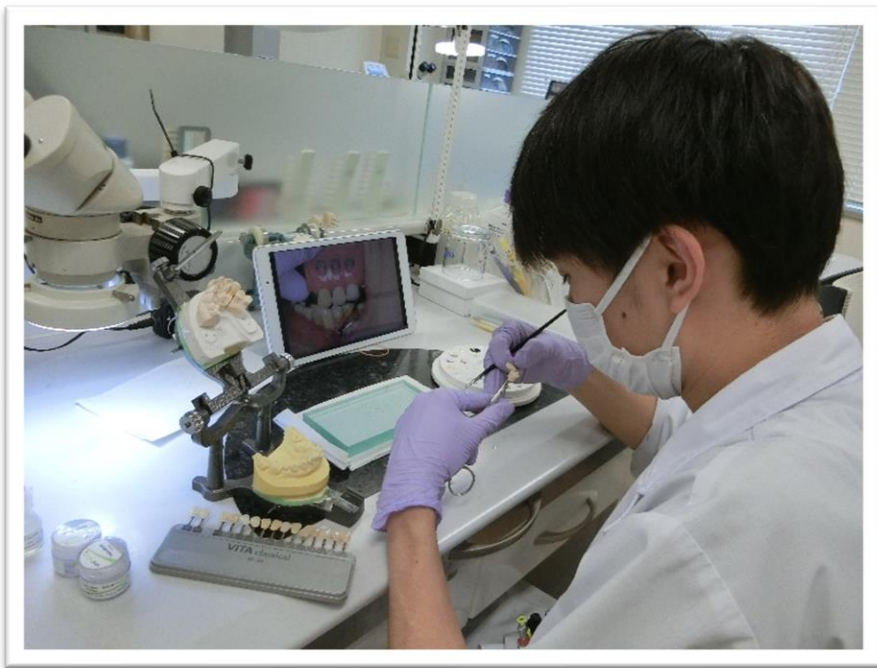


担当の指導職員から指示を仰ぎ、実習に取り組んでいます。

当技工室には歯科専門雑誌も多く揃えているので、それらを参考に

実習に取り組む研修生もいます。





ジルコニアフレームに
陶材を築盛しています



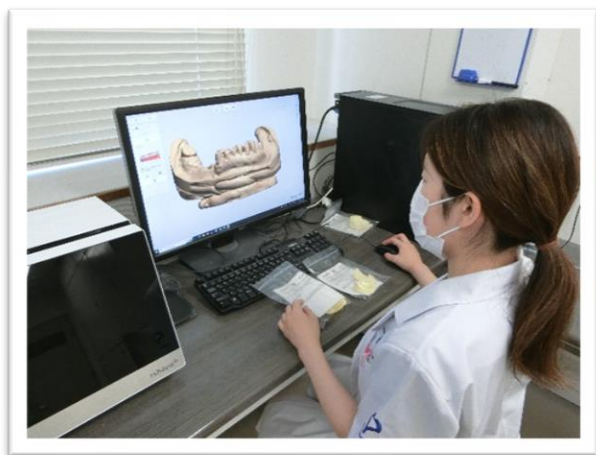
継続生は自費の症例にも取り組んでいます。
口腔内でもばっちり合っていて、患者さんにお褒めの言葉を
いただきました。



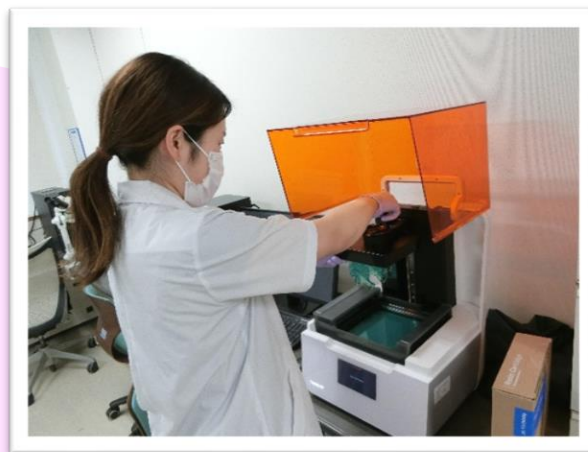
職員

昨年導入した 3D プリンターも、今ではなくてはならない存在となり大活躍しています。

個人トレーや模型をはじめ、口腔外科の先生方と協力し、下顎骨の模型なども製作しています。



模型をスキャンしてデザインし・・・



プリントされたトレーを外します



製作した骨模型は患者さんへの
説明や診断に使用されます。

